

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 川崎汽船株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9107 URL <https://www.kline.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 明珍 幸一  
 問合せ先責任者 (役職名) サステナビリティ・環境経営推進・IR・広報グループ長 (氏名) 北村 午郎 TEL 03-3595-5189  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	458,973	△5.0	44,655	△15.7	85,280	△85.0	63,178	△88.8
2023年3月期第2四半期	482,897	35.1	52,998	420.5	567,540	138.4	565,430	129.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 192,651百万円 (△72.0%) 2023年3月期第2四半期 686,859百万円 (176.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	258.28	—
2023年3月期第2四半期	2,009.74	—

(注) 2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,150,632	1,615,847	73.6
2023年3月期	2,052,616	1,546,679	73.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,583,718百万円 2023年3月期 1,515,399百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	300.00	—	300.00	—
2024年3月期	—	100.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。
- 2022年9月30日を基準日とする2023年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。
- 2023年3月期合計の1株当たり配当金については、株式分割の実施により単純比較ができないため表示していませんが、株式分割後基準による1株当たり年間配当金は400円です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930,000	△1.3	92,000	16.7	135,000	△80.5	105,000	△84.9	435.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	250,712,389株	2023年3月期	250,712,389株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	13,593,471株	2023年3月期	3,438,017株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	244,617,801株	2023年3月期2Q	281,345,320株

（注）2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提につきましては、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

2023年11月2日開催の決算説明会資料を、弊社ホームページ上に掲載しています。

（弊社（川崎汽船）ホームページ）

<https://www.kline.co.jp>

（株主・投資家情報）

<https://www.kline.co.jp/ja/ir.html>

（決算説明会資料）

<https://www.kline.co.jp/ja/ir/library/presentation.html>

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
3. 補足情報 .....	14
最近における四半期ごとの業績の推移（連結） .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	増減額 (増減率)
売上高	4,828	4,589	△239 (△5.0%)
営業損益	529	446	△83 (△15.7%)
経常損益	5,675	852	△4,822 (△85.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純損益	5,654	631	△5,022 (△88.8%)

為替レート(円/US\$)(6ヶ月平均)	131.56	139.93	8.37 (6.4%)
燃料油価格(US\$/MT)(6ヶ月平均)	850	605	△245 (△28.8%)

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の売上高は4,589億円、営業利益は446億円、経常利益は852億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は631億円となりました。

なお、持分法による投資利益として350億円を計上しました。うち、当社の持分法適用関連会社であるOCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.（以下、「ONE社」という。）からの持分法による投資利益の計上額は322億円です。

セグメントごとの業績概況は次のとおりです。

(単位：億円)

		前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	増減額 (増減率)
ドライバルク	売上高	1,715	1,375	△339 (△19.8%)
	セグメント損益	248	28	△219 (△88.5%)
エネルギー 資源	売上高	507	514	6 (1.3%)
	セグメント損益	89	52	△36 (△41.4%)
製品物流	売上高	2,546	2,646	99 (3.9%)
	セグメント損益	5,369	798	△4,570 (△85.1%)
その他	売上高	59	53	△5 (△9.9%)
	セグメント損益	5	11	6 (131.3%)
調整額	セグメント損益	△36	△38	△1 (—)
合計	売上高	4,828	4,589	△239 (△5.0%)
	セグメント損益	5,675	852	△4,822 (△85.0%)

なお、各セグメントの状況をより適切に反映させるため、全社費用の配賦方法を一部変更しています。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、変更後の方法により表示しています。

## ①ドライバルクセグメント

## [ドライバルク事業]

大型船市況は、一時的に中国向け鉄鉱石の輸送需要が改善したものの、中国の実需回復遅れに加え、滞船緩和が進んだことで船腹需給バランスが緩み、軟化しました。しかし、足元では中国の鉄鋼内需回復への期待感と雨期の明けたギニアからのボーキサイト輸送需要の回復などの季節的要因も重なり、上昇に転じました。

中・小型船市況は、欧州等遠隔地向け石炭・鋼材輸送の減少、穀物先物価格の下落による買い控えを背景とした中国向け輸送需要の減退などにより下落しましたが、穀物輸送需要の本格化による滞船の増加とパナマ運河の渇水等の影響による船舶稼働率の押し下げなどにより、足元では上昇しました。

このような状況下、ドライバルクセグメントでは、市況エクスポージャーを適切に管理すると同時に運航コストの削減や配船効率向上に努めました。

ドライバルクセグメント全体では、前年同期比で減収減益となりました。

## ②エネルギー資源セグメント

## [液化天然ガス輸送船事業・電力事業・油槽船事業・海洋事業]

LNG船、電力炭船、大型原油船、LPG船、ドリルシップ（海洋掘削船）及びFPSO（浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備）は、中長期の傭船契約のもとで順調に稼働し、安定的に収益に貢献しました。

一方で、前年度に実施した運航船舶の見直し等もあり、エネルギー資源セグメント全体では、前年同期比で増収となるも減益となりました。

## ③製品物流セグメント

## [自動車船事業]

世界自動車販売市場は、半導体及び自動車部品の供給不足を背景とした生産・出荷への影響が漸減するなかで、回復基調が継続しました。また、運賃修復及び運航効率の改善に継続的に取り組みました。

## [物流事業]

国内物流・港湾事業では、コンテナターミナルの取扱量が前年同期を下回りました。曳船事業の作業数及び倉庫事業の取扱量は堅調に推移しました。国際物流事業では、フォワーディング事業における海上及び航空輸送需要の減少傾向が継続し、市況も低迷しました。完成車物流事業では、豪州での外来種子付着による検疫不合格輸入車の増加に起因する滞船が深刻化していましたが、需要は依然高く陸送取扱台数及び保管台数が増加しました。

## [近海・内航事業]

近海事業では、石炭の輸送量は減少しましたが、鋼材輸送の新規契約獲得により全体では大幅に輸送量が増加しました。内航事業では、物価上昇の影響によりトラックやシャーシの輸送量が減少しましたが、新型コロナウイルス感染症による影響が縮小したことにより、乗用車・旅客の乗船数は増加しました。

## [コンテナ船事業]

コンテナ船事業では、ピークシーズンに入っても荷動きの回復に力強さは見られず、新造船竣工が増加したこともあり、短期運賃市況の上昇トレンドは継続しませんでした。当社持分法適用関連会社であるONE社では、減便やサービスの合理化を実施し黒字を確保したものの、前年同期比で大幅な減益となりました。

製品物流セグメント全体では、前年同期比で増収となるも減益となりました。

## ④その他

その他には、船舶管理業、旅行代理店業及び不動産賃貸・管理業等が含まれており、当期業績は前年同期比で減収となるも増益となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、投資有価証券の増加などにより前連結会計年度末に比べ980億円増加し、2兆1,506億円となりました。

負債の部は、社債の増加などにより前連結会計年度末に比べ288億円増加し、5,347億円となりました。

純資産の部は、為替換算調整勘定の増加などにより前連結会計年度末に比べ691億円増加し、1兆6,158億円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：億円)

	前回予想 (2024年3月期 第1四半期決算発表時点)	今回予想 (2024年3月期 第2四半期決算発表時点)	増減額	(増減率)
売上高	9,000	9,300	300	(3.3%)
営業損益	890	920	30	(3.4%)
経常損益	1,350	1,350	—	(—)
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,200	1,050	△150	(△12.5%)

	円 銭	円 銭	円 銭
1株当たり当期純損益	485.29	435.40	△49.89

為替レート(円/US\$)	136.04	140.76	4.73	(3.5%)
燃料油価格(US\$/MT)	613	624	11	(1.8%)

主に為替レートの想定と税金費用の見込みを見直したことから、2023年8月2日発表の2024年3月期通期の連結業績予想の売上高、営業損益、親会社株主に帰属する当期純損益及び1株当たり当期純損益について修正します。

ドライバルクセグメントでは、中国経済の先行き不透明感、欧米を中心としたインフレ・高金利による景気停滞などの懸念要素があるものの、限定的な新造船竣工を背景に中期的な船腹需給は引き締まり、ドライバルク市況は振幅を伴いながらも全体として底堅く推移していくと見込んでいます。輸送需要とトレードパターンの変化に注視し、迅速に対応できる準備を進めてまいります。また、運航効率の改善とコスト削減等に取り組むとともに、環境対応ニーズの強まるなか、事業基盤と高い輸送品質を生かした営業活動を積極的に行い、中長期契約の上積みによる安定収益拡充と、適切なリスクコントロール下での収益最大化に努めます。

エネルギー資源セグメントでは、LNG船、電力炭船、大型原油船、LPG船、ドリルシップ（海洋掘削船）及びFPSO（浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備）において、中長期の傭船契約に支えられて順調な推移を見込んでおり、引き続き安定収益の確保に努めます。

製品物流セグメントでは、自動車船事業においては、世界自動車販売市場は、地政学的リスク及び世界経済のリセッションリスクは残るものの、経済活動が正常化に向かうなかで、半導体や部品供給の改善に伴い、生産・出荷の回復基調が継続する見通しです。引き続き、船隊適正化や運航・配船効率向上に取り組めます。

物流事業においては、国内物流・港湾事業では、コンテナターミナル取扱量の減少傾向が依然として継続していることに伴い、通期の取扱量は不透明な状況です。曳船事業は作業数が堅調に推移し収支改善を見込みます。倉庫事業は、例年並みの収益見込みです。国際物流事業では、フォワーディング事業における海上及び航空輸送需要の減少に伴い、今後の市況動向の見通しは不透明な状況です。完成車物流事業は、豪州各港での外来種子付着による検疫不合格輸入車の増加に起因する滞船状況も段階的に回復していることもあり輸送台数、保管台数ともに引き続き堅調に推移する見込みです。

近海・内航事業においては、市況は前年比で低調な推移が見込まれるため、適切な市況エクスポージャーの管理を継続するとともに、運航効率の改善やコスト削減に取り組みます。内航事業では、フェリー輸送では乗用車、旅客の乗船数は前年を上回る見込みです。また、人件費を中心に運航コストの上昇も同時に進んでいることから、顧客の理解を求めながら、運賃修復に取り組みます。

コンテナ船事業においては、荷量は年度後半にかけ緩やかな回復を見込むものの、欧米の主な消費国での在庫は依然として高水準であり、船腹供給の増加もあり厳しい事業環境が継続する見通しです。ONE社では、経済環境を注視し、輸送需要の変動に合わせ機動的な対応を実施するなど、着実な事業運営に努めます。

当社は資本効率を常に意識し、企業価値向上に必要な投資及び財務の健全性を確保のうえ、キャッシュ・フローも踏まえて積極的に自己株式取得を含めた株主還元を進めることで、中長期的な株主利益の向上を図ることを基本方針としています。

この基本方針に基づき、当連結会計年度（2024年3月期）は、2023年5月8日に公表しました基礎配当1株当たり120円に、追加配当1株当たり80円を加え、年間配当1株当たり200円（中間配当100円、期末配当100円）の配当予想のとおり、中間配当1株当たり100円を実施し、期末配当は1株当たり100円を予定しています。

また、2023年8月2日開催の取締役会の決議に基づいて行われた自己株式の取得については、2023年10月18日公表のとおり、11,676,000株の株式を合計56,201,702,697円で取得しました。

なお、今回取得した自己株式については、原則として消却を予定しています。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	247,429	245,118
受取手形、営業未収金及び契約資産	107,522	112,461
有価証券	102,001	101,558
原材料及び貯蔵品	38,356	40,011
繰延及び前払費用	22,018	23,207
その他流動資産	18,639	30,933
貸倒引当金	△1,074	△1,253
流動資産合計	534,894	552,037
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	319,329	330,784
建物及び構築物（純額）	9,709	9,688
機械装置及び運搬具（純額）	3,129	2,993
土地	15,537	15,554
建設仮勘定	18,842	23,110
その他有形固定資産（純額）	5,599	5,636
有形固定資産合計	372,147	387,768
無形固定資産		
その他無形固定資産	3,808	4,277
無形固定資産合計	3,808	4,277
投資その他の資産		
投資有価証券	1,070,227	1,135,870
長期貸付金	24,568	23,618
退職給付に係る資産	1,400	1,415
その他長期資産	47,499	47,682
貸倒引当金	△1,930	△2,038
投資その他の資産合計	1,141,765	1,206,549
固定資産合計	1,517,722	1,598,594
資産合計	2,052,616	2,150,632



（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	62,803	70,425
短期借入金	50,691	55,506
未払法人税等	2,095	4,637
独占禁止法関連損失引当金	1,692	1,649
備船契約損失引当金	9,609	4,804
その他の引当金	5,012	4,437
その他流動負債	53,474	54,435
流動負債合計	185,378	195,897
固定負債		
社債	—	8,000
長期借入金	267,313	267,512
役員退職慰労引当金	83	37
株式給付引当金	1,192	1,047
特別修繕引当金	14,810	15,586
退職給付に係る負債	6,441	6,580
その他固定負債	30,716	40,123
固定負債合計	320,558	338,888
負債合計	505,937	534,785
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	75,457	75,457
資本剰余金	29,102	29,102
利益剰余金	1,302,769	1,291,383
自己株式	△6,550	△54,763
株主資本合計	1,400,779	1,341,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,482	10,038
繰延ヘッジ損益	2,100	2,248
土地再評価差額金	4,682	4,682
為替換算調整勘定	103,353	227,206
退職給付に係る調整累計額	△2,000	△1,639
その他の包括利益累計額合計	114,619	242,537
非支配株主持分	31,280	32,128
純資産合計	1,546,679	1,615,847
負債純資産合計	2,052,616	2,150,632

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	482,897	458,973
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	398,986	379,039
売上総利益	83,911	79,933
販売費及び一般管理費	30,912	35,277
営業利益	52,998	44,655
営業外収益		
受取利息	828	1,720
受取配当金	1,606	1,734
持分法による投資利益	499,280	35,093
為替差益	17,206	6,599
その他営業外収益	1,627	1,188
営業外収益合計	520,549	46,336
営業外費用		
支払利息	5,016	4,966
その他営業外費用	991	745
営業外費用合計	6,007	5,711
経常利益	567,540	85,280
特別利益		
固定資産売却益	3,291	1,770
その他特別利益	18	908
特別利益合計	3,309	2,679
特別損失		
関係会社株式評価損	121	179
関係会社清算損	8	280
その他特別損失	17	74
特別損失合計	147	534
税金等調整前四半期純利益	570,702	87,424
法人税、住民税及び事業税	2,478	12,374
法人税等調整額	436	10,882
法人税等合計	2,914	23,257
四半期純利益	567,788	64,167
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,358	988
親会社株主に帰属する四半期純利益	565,430	63,178

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	567,788	64,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△642	3,539
繰延ヘッジ損益	△2,410	△800
為替換算調整勘定	19,449	14,094
退職給付に係る調整額	435	347
持分法適用会社に対する持分相当額	102,239	111,303
その他の包括利益合計	119,071	128,483
四半期包括利益	686,859	192,651
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	683,896	191,096
非支配株主に係る四半期包括利益	2,963	1,554

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	570,702	87,424
減価償却費	21,133	22,094
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△100	71
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△11	△15
退職給付に係る調整累計額の増減額（△は減少）	285	308
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△64	△45
特別修繕引当金の増減額（△は減少）	△253	733
傭船契約損失引当金の増減額（△は減少）	△7,067	△4,804
受取利息及び受取配当金	△2,434	△3,454
支払利息	5,016	4,966
為替差損益（△は益）	△11,563	△5,602
持分法による投資損益（△は益）	△499,280	△35,093
有形固定資産売却損益（△は益）	△3,267	△1,767
関係会社株式評価損	121	179
関係会社清算損益（△は益）	8	△113
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△22,502	△2,585
棚卸資産の増減額（△は増加）	△7,417	△1,364
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△8,598	△12,165
仕入債務の増減額（△は減少）	4,227	5,160
その他の流動負債の増減額（△は減少）	3,085	3,385
その他	3,084	△1,353
小計	45,103	55,956
利息及び配当金の受取額	110,536	91,842
利息の支払額	△5,001	△4,814
傭船解約に伴う支払額	△546	—
独占禁止法関連の支払額	△399	△48
法人税等の支払額	△3,871	△9,829
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,821	133,106
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,666	△2,889
定期預金の払戻による収入	2,258	1,528
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,049	△2,844
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	584	559
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	4,887	33
有形固定資産の取得による支出	△49,538	△37,796
有形固定資産の売却による収入	16,144	11,278
無形固定資産の取得による支出	△244	△744
長期貸付けによる支出	△884	△172
長期貸付金の回収による収入	2,983	3,429
その他	358	△1,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,166	△28,693

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	42	192
長期借入れによる収入	29,143	24,324
長期借入金返済等に係る支出	△46,824	△27,936
社債の発行による収入	—	8,000
社債の償還による支出	△7,000	—
自己株式の取得による支出	△20	△48,212
配当金の支払額	△56,055	△74,439
非支配株主への配当金の支払額	△3,312	△740
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△289	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	11	—
その他	△37	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,340	△118,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,945	8,554
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	49,260	△5,893
現金及び現金同等物の期首残高	244,316	346,831
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	293,578	340,939

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、2023年8月2日開催の取締役会決議に基づき、自己株式10,154,700株の取得を行い、自己株式が48,209百万円増加しています。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	ドライ バルク	エネルギー 資源	製品物流	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
顧客との契約から生じる収益	168,508	48,185	251,498	5,859	474,052	—	474,052
その他の収益	3,072	2,568	3,141	62	8,845	—	8,845
外部顧客への売上高	171,581	50,754	254,639	5,922	482,897	—	482,897
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	3	2,672	30,865	33,546	△33,546	—
計	171,586	50,757	257,311	36,787	516,444	△33,546	482,897
セグメント利益又は損失(△)	24,858	8,913	536,911	510	571,195	△3,654	567,540

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない船舶管理業、旅行代理店業及び不動産賃貸・管理業等が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,654百万円には、セグメント間取引消去△38百万円と全社費用△3,616百万円が含まれています。全社費用は、主に特定のセグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	ドライ バルク	エネルギー 資源	製品物流	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
顧客との契約から生じる収益	136,337	49,966	262,294	5,251	453,851	—	453,851
その他の収益	1,256	1,466	2,314	84	5,122	—	5,122
外部顧客への売上高	137,594	51,433	264,609	5,336	458,973	—	458,973
セグメント間の内部売上高 又は振替高	64	7	2,159	35,602	37,834	△37,834	—
計	137,659	51,440	266,769	40,938	496,808	△37,834	458,973
セグメント利益又は損失(△)	2,864	5,227	79,860	1,182	89,134	△3,854	85,280

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない船舶管理業、旅行代理店業及び不動産賃貸・管理業等が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,854百万円には、セグメント間取引消去△32百万円と全社

費用△3,822百万円が含まれています。全社費用は、主に特定のセグメントに帰属しない一般管理費等です。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

なお、各セグメントの状況をより適切に反映させるため、全社費用の配賦方法を一部変更しています。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、変更後の方法により表示しています。

## 3. 補足情報

## 最近における四半期ごとの業績の推移（連結）

2024年3月期

	第1四半期 2023年4月～ 2023年6月	第2四半期 2023年7月～ 2023年9月	第3四半期 2023年10月～ 2023年12月	第4四半期 2024年1月～ 2024年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	222,205	236,768		
営業損益	19,637	25,018		
経常損益	49,117	36,162		
税金等調整前四半期純損益	51,117	36,307		
親会社株主に帰属する 四半期純損益	38,574	24,603		
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	156.00	101.41		
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	2,136,164	2,150,632		
純資産	1,602,018	1,615,847		

2023年3月期

	第1四半期 2022年4月～ 2022年6月	第2四半期 2022年7月～ 2022年9月	第3四半期 2022年10月～ 2022年12月	第4四半期 2023年1月～ 2023年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	228,498	254,399	245,893	213,814
営業損益	18,878	34,120	27,594	△1,735
経常損益	267,397	300,143	74,374	48,924
税金等調整前四半期純損益	269,103	301,599	73,559	48,615
親会社株主に帰属する 四半期純損益	266,639	298,790	72,791	56,682
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	950.65	1,057.73	269.79	226.48
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	1,861,016	2,175,675	2,089,303	2,052,616
純資産	1,274,425	1,614,725	1,564,625	1,546,679

(注) 2022年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純損益」を算定しています。